

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公表番号】特表2005-508251(P2005-508251A)

【公表日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-542299(P2003-542299)

【国際特許分類】

B 0 1 J 20/28 (2006.01)

B 0 1 J 20/06 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 20/28 A

B 0 1 J 20/28 Z

B 0 1 J 20/06 A

B 0 1 J 20/06 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年5月19日(2008.5.19)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 1】

球体状のボディは、それ自体既知の方法によって形成される。分離される特定の成分に対して好適な物質を実質的に含む粉体は、球状コアに分散液／懸濁液として被覆され、乾燥後、焼結される。コアは、分離の際に不活性である物質から構成することができるが、その場合、焼結の際の熱膨張や熱収縮の観点から殻部のひび割れの発生を可能な限り防止するために、その物質の熱的特性を考慮すべきである。また、コアは、例えば予め発泡されたポリスチレン等の、700 以下の温度で確実にガスとして追い出すことが可能な有機材料から構成されてもよい。そのため、これらの場合、ボディは中空球体の形状となっている。